

北海道遺産
Hokkaido Heritage

北海道遺産・北見市指定文化財

ピアソン記念館

第127号

(隔月刊)

発行：2026. 3 .31

(令和8年3月31日)

発行人：中山 一夫（理事長） 編集人：伊藤 悟（副理事長）

NPO 法人ピアソン会事務局
(事務局長 伊藤 悟)
〒090-0036 北見市幸町7丁目4番28号
ピアソン記念館内
Tel. FAX 0157-31-1215
午前9:30～午後4:30
e-mail / pierson@yacht.ocn.ne.jp



会報のバックナンバー等は、左のQRコードホームページで読むことができます。

この煉瓦組積造の建物は、1918年の米国バプテスト総会で報告された早稲田奉仕園の事業に強く賛同されたスコット夫人(1851～1936)によって、天に召された夫の記念として寄贈されたもの。ヴォーリス建築事務所的设计原案に基づき、早稲田大学の内藤多仲教授の研究室が施工管理を行い、同研



当会が幹事を務めるヴォーリス建築文化を継承する全国組織で略称VNWの創設20周年記念大会が、東京早稲田奉仕園(スコットホール)で、5月30日(土)に開催されます。翌日の日曜日にはオプションで東京のヴォーリス建築訪問の企画も予定されています。

「ヴォーリス建築文化全国ネットワーク」
全国大会案内



究室の今井兼次助教授(当時)が担当者となって設計を完成させ、竹田米吉店が施工を請け負いました。1921年に献堂式(竣工式)が行われ、スコットホールと名づけられました。その建物を会場に、総会が行われます。今回のテーマは「ヴォーリスと早稲田」、日程としては、5月30日(土)の午

後1時30分から総会、2時から記念講演「愛、会い」副題「ヴォーリスとベニンホフ」講師/阿部千秋氏、3時30分スコットホール見学会(説明山形幹事)、6時よりお楽しみ【交流会】も予定されています。

※翌日の日曜日にはオプションとしてフレンズセンター見学会など。

~~~~~

今回は、VNWの20周年の記念大会でもあることから、会員の皆様にも参加していただければと願い、参加希望者には若干の助成金を補助したいと計画しています。

参加資料代、交流会負担金、及び宿泊費の一部負担金などで、お一人2万5千円程度助成したいと考えます。人数が多い場合には若干少なくなるかもしれません。

参加希望者は、4月17日金曜日のお昼までに、ピアソン会事務局までご連絡ください。詳しい資料はその時にご案内いたします。

(伊藤)

## ピアソン会「総会」の開催案内

- ◎ 開催日時 : 2026年5月23日(土) 午後4時30分より
- ◎ 開催場所 : ピアソン記念館内 北見市幸町7丁目4番28号
- ◎ 参加資格 : 運営会員・賛助会員・団体会員・その他
- ◎ 総会内容 : 2025年度「事業・決算報告」、2026年度「事業・予算(案)」
- ◎ その他 : 詳細につきましてはピアソン会までご連絡ください。電話: 31-1215 ピアソン会

## 第3弾のエコバッグ製作！

2023年1月に、A4サイズの本を入れる大きさのモスグリーン日本語表記エコバッグ製作を製作しました。1年で完売しました。2024年の4月には少し大きめのMサイズで英語表記バッグを第2弾として製作。これも好評ですぐに売り切れ。今回は最初と同じ大きさでパープル色のバッグを製作。「オシャ



レな色！」と女性に人気のおしゃれです。原価の700円で頒布しています。夏前にはこの色のデザインでTシャツも製作する予定です。

## 2025年度 留学生交流の夕べ

2月13日金曜日に、北見工業大学に留学している留学生と北見市民との交流会が大学の国際交流センターで開催されました。当会からは花田ハープ部会員、斎藤理事、河田理事の3名が参加しました。

国立大学で、一番北にある大学ですが、現在112名の留学生が在籍しています。20年前の倍の留学生が学んでいます。普段はあまり気付きませんが百名以上の留学生がい

るとは会場でびっくりしました。このように市民と留学生が交流できる場がもっと多くあつたらと感じました。



## 新年度事業提案募集！

ピアソン記念館の指定管理者として約22年間(会の活動としては28年)、ピアソン宣教師夫妻がこの日本で残された業績の調査研究や、ピアソン邸の保存管理、建物の設計者であるW・M・ヴォーリズ関連施設等の保存団体との交流及び情報交換など、NPO法人としてピアソン記念館事業を推進してきました。

多くの先輩会員のご努力で、大いなる成果を残す優れた団体との評価も受け、2004年10月に北海道新聞社「北のまらい奨励賞」受賞。2011年10月に北海道文化財保護協会「北海道文化財保護功労賞」受賞。2019年6月に北見市「教育文化体育功労賞」など、この間の活動実績を評価される団体に成長することができました。

この間、ピアソン記念館外国語案内のシステム開発、「文化サロンdeピアソン」事業による講演・講座・音楽会などの自主事業、調査研究の「ピアソンブックレット」発行、会報の発行など。更にエコバッグ製作やグッズの開発。皆様から**新たな事業を公募します！** 4月末までに事務局へ。

## 「Information Technology(情報技術) 相談役」を設置します

ピアソン記念館は、12年前から市内各教育施設の先駆けとなる外国語案内(4ヶ国語)を導入していますが、そのソフト製作者が新年度から当会「IT相談役」としてボランティア参加する旨の総会提案をいたします。

当会の活動の多くに、ITを利用した事務処理をしています。それらの仕事は、大きく分けて、①既製のソフトウェアを利用しての情報処理(一般的にワードやエクセル)、②既製のソフトを利用していながら当会の事務処理用フォーマットを組み上げて利用しているもの(ホームページ制作や会報制作・複式簿記会計)、③独自のソフトを製作し利用している(音声ガイド等)。

しかし最近では、ITの素人集団では中々対応できない問題が多発するようになってきています。

一例としては、当初のホームページは、パソコンで見るのが主な目的でしたが、近頃はパソコンよりもスマホやタブレットが主流になり、パソコン向けの

ホームページフォーマットでは見てもらえないようになっていきます。画面も横長ではなく縦型が主流になるなど、多くの利用者の利便を考えると、時代に相応しい対応を考慮する必要があります。また、度重なるOS変更・ソフトのバージョンアップなど、IT素人の事務処理の限界を感じ始めている昨今、当会と関わりがあり、優れた技術と経験を持ち北見工大でのIT指導などをされていた方が、現在何処にも所属されていないとの情報を得て、早速当会でのボランティア活動に参加できないか連絡しました。『了解!』との快諾を得て、新年度の総会で「IT相談役」就任としての提案させてもらうことになりました。

総会後には、当会の会員でPC等で相談事がある場合には、実費経費での相談が可能となります。再度会報にて連絡いたします。力強いITのスペシャリストに期待します。(伊藤)

# 婦人矯風会、北海道での活動

2024年9月に、立命館大学文学部小川真和子教授がピアソン記念館を訪問。北海道におけるピアソン夫人と婦人矯風会活動の聞き取り調査でした。その取材を含めた永年の研究成果の貴重な刊行本の寄贈を受けました。

事前に取材の連絡を受けています。まさに北海道における婦人矯風会の草分け的存在であり、伊藤理事と玉置が、それらの事を総合的に研究しつつかの質問に答え、必要と思しき資料や写真などをCDに複製して提供しました。

北見(当時は野付牛町)での婦人矯風会の活動は、ピアソン夫妻が居住(大正3年)された2年後の1916(大正5)年6月の野付牛支部結成に始まり、夫人は1898(明治31)年には札幌支部の開設に加わり、1902(明治35)年には旭川に支部を開設していま



『遊郭から救い出した女性たちを、函館の職を身につけることのできる施設に送り出していました』との言い伝えが北見で残っていました。小川教授の研究により、《函館婦人ホーム》で、収容した女性たちに

和洋裁、ミシンの使用方法、外国の料理、国語の読み書き、などを教えていた。このホームを矯風会と結びつけたのはピアソン夫人であった。とあります。そしてこのことの根拠の新たな出典も明記されています。

今まで、ピアソン夫妻の活動取材にいられた研究者が、本にまとめたものを記載します。ぜひ一読をお勧めします。高価な本でもありませんので、個人購入ができません方は、図書館で購入リクエストをされると良いと思います。

- ①「白リボンの国際連盟」小川真和子著・明石書店／定価4500円
  - ②「性を管理する帝国」林葉子著・大阪大学出版会／定価7000円
- これらの本は、遊郭問題を扱った女性研究者による作品ですが、林葉子さんも10年前に来館され、ピアソン夫人の矯風会記録を取材されました。現在は名古屋大学におられると



# 驚「ピアソン学事始め」

23

この「ピアソン学事始め」は、22年前に街の情報誌に書かれたものですが、少し手を加え年号なども修正し改稿として連載しています。

ピアソン夫妻とヴォーリズとの出会いは？

伊藤 悟

W・M・ヴォーリズとピアソンの出会いが、いつ何処でなのか、未だにそれは特定出来ませんが、貴重な情報があることが分りました。その資料のことは次回に説明する事として、今回はヴォーリズについて少し説明します。

一八八〇年米国カンザス州レブンワースで生まれましたが、身体が弱かったこともあり、空気の澄んだアリゾナ州のフラッグスタッフに一家は転居します。ここで健康を取戻したヴォーリズはコロラド州のデンバーに移り、コロラド大学を卒業。卒業後はYMCAに勤務していましたが、一九〇五(明治三八)年に、日本の近江八幡にある県立商業学校の英語

教師として来日、若干二四才という若さでした。学校の夏休みには、軽井沢などに旅をして、日本に滞在する外国人との情報交換を積極的に行っていたようです。二年後の一九〇七(明治40)年には県立商業学校を突然解職

で、以後日本で身を立っていくチャペル建築第二号の作品として誕生したのです。彼の作品の礼拝堂としては最も古い作品になり、かつ貴重な建物でした。2011年3月11日の東日本大震災で損傷し、残念ながら修復費用の問題から取り壊されてしまいました。



【写真】当時福島日本基督教会、戦後は日本基督教団福島教会会堂。1909年12月に竣工。偶然にもこの地は(1894年頃)ピアソン夫人独身時代、聖公会の宣教師として活動していた所である。この教会は2011年まで保存され国の文化財となっていた。

# 「ニュージーランドからの便り」第55回



ピアソン会顧問 グラハム・ハード氏

2025.3.4 (水)

ファンガヌイから

こんにちは(1)

2026.2.8 (日)

赤いハイビスカス

◆北見の寒中にも快適にお過ごしのことでしょう。こちらは元気で、ファンガパラオアの夏の日々を楽しみ過ぎております。◆今日のラジオニュースが、日本選挙があったことを伝えていました。

◆庭の赤いハイビスカスの花を写真に撮ったところですが、お変わりありませんように。

グラハム・ハード

◆北見の気温も日毎に上がりますから、お変わりなく過ごされますように。

◆ここファンガヌイは美しい初秋の日々です。今朝は、アザミの刈り取りに行つてきました。今年はまだ多くはありませんが、昨日は、ダムソン李とマルメロを収穫しました。林檎の木には、実がたわわになっていますが、収穫はもう少し先です。◆ステイヴは元気です。今日



【写真上】 ハイビスカスの紅い花。ニュージーランド北島に多く咲く。ファンガパラオアは、ハイビスカスコースという観光地に属している。

【写真左】 収穫も間近に控えたリンゴの木。



は、娘のステファニーと一緒に、羊の毛刈り大会ゴールデン・シアーズに出場する孫ジェイクを応援するため、出かけました。私も誘われましたが、入場券は完売でした。◆土曜日にはファンガパラオアへもどります。ごきげんよう。グラハム・ハード

2025.3.24 (火)

ファンガヌイから

こんにちは(2)

◆こちらは元気にしておりませんが、皆さま方もお変わりないことでしょう。北海道では雪も消え始め、気温もよくなっていることでしょう。◆こちらは秋の始まりですが、

秋色は日本、北海道の光り輝くようなのではなく、赤や黄色です。

◆先日、シエークスピア公園へ散歩しました。羊やヘレフォード種の肉牛がパドックに見えました。昨日は、湿地で茶色小鴨の新しい一家と出会いました。今シーズン2回目の家族のようです。この辺りでは珍しい種類なので、嬉しい出会いでした。◆ニュージーランドでは、中東戦争のせいで、燃料費が相当に上がりました。日本でもそうかと思えます。戦争が早く収束するよう希望を託しましょう。

◆先日、薪の配達があり、地下室に蓄えました。冬の備えができて良い具合です。お元気で。グラハム・ハード



【写真右】 自宅より歩いて1キロ米範囲内のシエークスピア公園。

瞳ふぁっしょん・瞳けあ

## めがねのよっしー

代表 岩井 敏忠

〒090-0043 北海道北見市北3条西3丁目

携帯. 090-2693-1919 TEL. 0157-57-3664

定休日/毎週木曜日・営業時間/10時~19時

### 編集後記

新年度を迎えます。2004年4月から、ピアソン記念館指定管理者として選任され、更に今年から5年間の選任延長を受けました。新年度の事業で、「ぜひこんな事業を！」というアイデアがありましたら4月末までにご連絡ください。総会へ提案できるものは取り上げたいと思います。

ヴォーリス建築文化全国ネットワークの総会が5月末に東京で開催されます。参加希望者は事務局に早めにご相談ください。ささやかですが助成金を準備したいと計画しています。

総会へのご出席をお待ちしています。5月23日です。

私的なことですが、両目を白内障手術しました。歳のせいだ読書の集中力が低下と思っていました。手術後読書が苦にならなくなり大いに読んでいます。感謝!

(副理事長兼事務局長) 伊藤 悟